京城日報
朝刊 夕刊
京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

けふ衆院可決 臨軍費追加案

【東京電話】必勝不敗の戰略的態勢をもつて戰爭目的を完遂すべき臨時軍事費追加案二百七十億圓は政府より衆議院に提出された、衆議院では本件の緊急性にかんがみ九日豫算分科會の開會に先だち特に午前十時豫算總會を開會、秘密會として賀屋藏相より臨時軍事費追加要求理由の説明を聽取したのち慎重審議の上、一旦休憩、直ちに代議士會を開き正式承認を求め、再び豫算總會を開き全會一致をもつて即決、午後一時から開かれる本會議に緊急上程、金光委員長の報告通りこれまた全會一致をもつて可決、貴族院に送附する

しかして貴族院は右衆議院の臨時軍事費送附を接受して十日開會の本會議における審議を經て直ちに豫算總會を開催、慎重審議して全會一致即決可決の上、直ちに本會議に上程可決する

必勝の臨軍費決る

總額二百七十億

七百四十一億圓 (昭和十二年以降の累計)

【東京電話】政府は大東亞戰爭完遂に必要なる臨時軍事費豫算追加案をはじめ昭和十八年度一般會計ならびに各特別會計追加豫算案をこのほど決定、八日衆議院に提出、右につき情報局より左の如く發表された

情報局發表(八日午後四時)政府は本日臨時軍事費豫算追加案二百七十億圓を帝國議會に提出せり

昭和十八年度追加豫算額 (單位千圓)

一、一般會計

歳入臨時部 公債金	九二四、一五〇
歳出經常部	九二四、一五〇

【備考】右歳出は大藏省所管の分なり

二、各特別會計歳出追加豫算額

國債整理基金	二〇四、一九〇
公債金	一八、〇九七、九五二
陸軍造兵廠	一、三八〇、七七六
陸軍製絨廠	二七、四四二
陸軍航空工廠資金	一三〇、〇〇〇
海軍工廠資金	七四六、二〇五
海軍火藥廠	一三七、四六六
海軍燃料廠	八八、一九〇

三、臨時軍事費豫算追加 二七、〇〇〇、〇〇〇

臨時軍事費豫算は昭和十二年第七十二臨時議會において決定をみて以來第七十九議會までにすでに四百六十九億三千五百餘萬圓の追加豫算が決定されてをり、これに昭和十六年十一月大東亞戰爭勃發直前に行はれた豫算超過支出分を合せれば累計四百七十一億二千八百餘萬圓となつてゐたが、今回の第九次追加豫算を加へ臨時軍事費總計額は七百四十一億二千八百餘萬圓となつたわけである

臨軍費内譯

【東京電話】臨時軍事費第九次追加豫算二百七十億圓の内譯は本費二百十億圓、豫備費六十億圓で概ね十八年度中の戰事費にあてられるものであるが、これが財源の内譯は次の通りである(單位百萬圓)

一、公債金	一七、一六三
一、借入金	三、三〇〇
一、他會計より繰入額	四、三三六
一般會計	六四
通信事業特別會計	一一六
鐵道〃	二〇二
朝鮮〃	一〇二
臺灣總督府〃	七一
關東局〃	二二
樺太廳〃	一八
一、軍事費獻納金	
一、雜收入	一、六〇〇

明年公債發行額

二百十四億圓に達す

【東京電話】臨時軍事費追加豫算の決定により明十八年度中における公債發行豫定額は總額二百十四億二千萬圓となり十七年度に比し五十億二千四百萬圓の増加を示してゐる(單位千圓)

	十八年度	十七年度
一般會計	三、七〇八	一、三五六
各特別會計	一、〇八〇	八九九
臨時軍費	一七、一六三	一四、〇〇〇
計	二一、四二〇	一六、二五六

なほ十八年度各特別會計の公債發行内譯は左の通り

▲朝鮮總督府一五七▲台灣總督府二〇▲鐵道事業二七〇▲通信事業九五▲政府出資四〇七▲計一、〇五〇

第二豫備金 追加七億圓

【東京電話】八日衆議院に提出された昭和十八年度一般會計第二次追加豫算九億二千四百餘萬圓の歳出内譯は國債整理基金特別會計への繰入れ二億四百萬圓、國庫豫備金増加七億二千萬圓となつてゐる

右豫備金増加額の内譯は第一豫備金三千萬圓、第二豫備金七億圓で、この結果第一豫備金は本豫算と合せて八千萬圓となり、第二豫備金を未曾有の巨額に達しこの彈力性に期待がかけられてゐる

牛島人の徴用考慮

衆院豫算總會

【東京電話】衆議院豫算總會は午後一時十九分再開、直ちに翼贊會問題に關し金光委員長より代表質問を行ひ續いて一般質疑に入り、小林綱太郎氏(山形)高城憲夫氏(鹿兒島)についで佐久間道夫氏(神奈川)…

飽迄、本質を異にす

翼贊會、翼政會の問題 東條首相言明す

【東京電話】翼贊政治會と大政翼贊會との職域分野を明確にし一億國民の決戰體制をますく強化昂揚することは現段階における緊急の要務とされ衆議院においても國民力增强の經濟的論議とともに國民總力結集上の一大課題として之が取扱ひに慎重を期して來たが、八日午後の衆議院豫算總會金光豫算委員長は翼贊會、翼政會兩者の緊密なる聯關につき首相と次のごとく一問一答を行つた

金光委員長 政府は國民の強力戰爭體制を整備せんがため國民運動を推進する中核體として翼贊、臣道實踐の國民組織を確立し、と表裏一體の關係に立ち、萬民翼贊の覺悟を覗ひたいと思ふ

東條首相 大政翼贊會は政府にさきに翼贊政治會が結成せられ、大政翼贊會が改組せられた、しかして翼贊會といひ、翼贊政治會といひ、各々その職域分野を明確にしあらゆる部門より國民の忠誠心が一段と昂揚せられるの要、今日より切なるはない、翼贊政治會ならびに大政翼贊會の活動部面につきこの際總理の所見を覗つて議會を通じ戰爭體制の完璧につき國民の各種國民運動を展開して政府を補け行政各機關の活動に協力して國策の滲透をはかるのである、但し大政翼贊會は政事結社にあらざるをもつてその活動は嚴に政治運動の分野に立入るを許さないのである、一方翼贊政治會は興國政治力を結集し國政を翼贊するをもつて任務とする政事結社であると信じてゐる、しかして國政翼贊のことたるや現下大戰爭中なるにかんがみ、過去におけるがごとく政黨の爭奪、同黨異伐のごとき行動はその本領にあらざるはもちろんその活動は專ら戰時政治體制の確立に存することを政府は期待する次第である、以上のごとく大政翼贊會は臣道實踐、萬民翼贊の國民運動推進の中核體たる公事結社であり翼贊政治會は興國政治力を結集して國政を翼贊する政事結社である、しかして兩者はその本質を異にするものであるが、兩者ともその理想を一にし一億國民の燃え上る至公心を基礎として國内政治體制を强化することを使命としてゐる

安藤正純氏(東京) 大學院を帝大および官立大學に限定した理由如何、これを私學に許さないことは學問に官私の區別を設けるものではないか、官私を問はず一定の基準を設け所要の大學に設置することとしては如何

東條首相 今回豫算化された大學院は官私立大學を通じて卒業生を收容するものである、また將來必要があれば私立大學に對しても大學院設置を許容する方針であり、目下準備を進めてゐる、差別して取扱ふ如き考へは持つてゐない、大學院を設置する場合にも豫算などにつき官立と同様の支出を行ふつもりである、年限短縮については從來の教育過程を短縮された年限に壓縮するのではない、課目も重點的に配置し一日も早く大東亞戰爭の遂行と大東亞建設とに参加させるのである、教育審議會の答申は愼重するが戰爭を對象として修正すべき點は修正する

金光委員長 興亞育英金庫について育英制度につき本會議に豫算經常のないのは遺憾である、昭和十八年よりこれを實施されたい

橋田文相 そのやう萬全の用意を進めてゐるは認めてゐるか

愛野時一郎氏(佐賀) 學生の徴用を行つてはどうか

小泉厚相 學生はこの時局下にもなるべく勉學に勤しむことが本分である、徴用はしない、ただし學業の餘暇に勤勞奉仕することは國家勞務計畫に繰りこんで活用してゐる

沖藏氏(福岡) 農家の適正規模如何 …

朱深氏を起用

華北政務委員會委員長

【南京八日同盟】八日南京における最高國防會議において華北政務委員會委員長に同政務委員會常務委員朱深氏を起用することに決定し同日正式發令を見た、新委員長朱深氏は清廉潔白、意氣と愁眉の人で參戰下華北の領導者として最適任であり氏の政治的手腕には多大の期待がかけられてゐる、なほ朱深新委員長は新民會々長を兼任するとになつた【寫眞=朱深氏】

教育總署督辦に蘇體仁氏

【北京八日同盟】八日華北政務委員會王揖唐委員長の辭任、朱深氏の新委員長就任に伴ひ治安總署督辦齊燮元上將は内務總署督辦を兼務、周作人教育總署督辦の勇退のあとをうけてさる一月二十八日山西省長から北京特別市長に就任したばかりの蘇體仁氏が三段跳で教育總署督辦に拔擢、北京特別市長には華北電々理事劉玉書氏がまた政務委員會政務所々長兼殷同氏の後任として河北電業理事長許仲直氏がそれぞれ適用任命された

兵團長の遺骨捧持

蘭谿、衢州の敵殲滅

酒井兵團配屬部隊 武勳上聞に達す

【東京電話】昨年五月中旬支那大陸に展開された浙贛作戰において酒井兵團長の遺骨を捧持し未曾有の豪雨下天險に據る頑敵を包圍殲滅して徹底的に擊滅した酒井兵團、同配屬部隊に對してはさきに同方面軍司令官より感状が授與せられたが、このほど畏くも上聞に達せられた旨八日陸軍省より發表された

陸軍省發表(二月八日) 浙贛作戰において偉勳を樹てたる酒井兵團、同配屬部隊に對しさきに軍司令官より感状を授與せられしが、今般畏くも上聞に達せられたり

酒井中將

感状 酒井兵團、同配屬部隊

右は昭和十七年五月中旬浙贛作戰の開始せらるるや陸軍中將酒井直次指揮のもとに一擧蘭谿前面に進出し、さらに天險に據る頑敵を擊滅して五月廿七日金蘭陣地線の頸鎖たる蘭谿を攻略せり、兵團長壯烈なる戰死を遂ぐるや全兵團その遺骨を捧持して敵を急追し、六月三日衢州附近一帶の既設陣地の縱深を一擧に突破し、神速に烏溪港岸に進出せり、時偶々大豪雨あり濁流滾々として增水するを見るや、斷乎夜暗濁流を渡渉、敵の退路を遮斷し、衢州附近敵陣地の根基を形成せり、爾後未曾有の豪雨泥濘を冒し、特火點陣地帶を突破しつつ包圍圏を壓縮、六月七日遂に衢州城を攻略し敵の大部を殲滅して偉大なる戰果を收めたり、右の行動は兵團長の統率に基く將兵の團結と熾烈なる攻擊精神に據るものにして軍の作戰目的達成に至大の貢獻を致せるものにしてその武功拔群なり

仍て茲に感状を授與す

昭和十七年七月七日 軍司令官

海外通信を強化

本社、朝日新聞の提携成る

現下の國際情勢は樞軸國、反樞軸國の二大陣營に分れ、各國共に自國の戰爭意識を昂揚せんがために思想宣傳戰に主力を注ぎ特に米英の如きは自國の敗戰を國民に明示せず、寧ろ巨大なる數字と虛構の宣傳をもつて相手國を思想的に混亂に陷れんとしてゐる、從つて米英の宣傳にはうつかり乘れないといふ現狀にある、かゝる情勢の下にあつて敵側の正確なる動向を知るといふことは兵法の上ばかりでなく、一般國民も十分認識してゐなければならない點である、本社はこの點に鑑み朝日新聞社の好意により同社と通信提携をなすことによつて同社の海外通信網により得たるニュースを十日附より特電として紙上に掲載し海外情勢を正確に報道することゝなつた、本社は朝日新聞の右の好意に對し深甚なる謝意を表する次第である

昭和十八年二月九日

京城日報社

(關東軍報道隊員本社森川特派員撮影=軍許可濟)

酷寒の北滿に活躍する無電隊

復仇の念燃ゆ進擊

戰鬪經過

一、杭州南方を突破 昭和十七年五月十日蕭山附近に集結した酒井兵團は十五日夕浦陽江の敵前渡河ののち浙贛線沿線地區を數列の縱隊を形成して晝夜機動前進、同十九日安華、義烏の敵陣地を突破、二十二日夕刻には早くも…

(ロ)攻擊開始 …

(ハ)衢州城占領 …

酒井中將略歴

…

社説

四十年前の仁川沖海戰

一

四十年前の明治卅七年二月九日は、日露戰爭における緒戰ともいふべき仁川沖の海戰に、わが瓜生艦隊が敵の軍艦ワリヤーク、コレーツを擊沈し、運送船スンガリーをも自沈せしめた記念すべき日である。この日露戰爭の要因は、ロシアの不逞飽くなき野望に端を發し、旅順、大連を狙ふ魂膽から、一方には日清戰爭で日本が獲得したる遼東半島に垂涎措かず、獨佛を誘うてその還付を强要すると共に、自らは滿洲の天地に續々兵を進め、當時の韓廷の内紛に乘じ、これをも自由にせんとした下心に基くものといふことが出來る。

二

しかも、時の駐韓公使小村壽太郎と同ウェバーとの間に作成されたる京城覺書、特派大使山縣有朋と外相ロバノフとの間に締結されたるモスコー議定書、敢えてわが外務大臣西徳二郎と駐日公使ローゼンとの第二日露協商によつて、韓國の主權及び獨立を承認したにも拘らず、露は滿洲獨占の野望を露骨にし、併せて北韓經營にも着目し、鴨綠江下流の龍巖浦を占領して軍事的施設を營む等、その侵略政策は着々として東亞の一角に伸びて來たのである。之は正に東亞を擾亂するばかりでなく、帝國の存立をも脅かすものなので帝國としては御前會議を開いて大綱を決し、しばく協定の履行を求めたが反省の色がないため、遂に卅七年二月四日の御前會議において交渉打切りを決定し、わが正當の權益を保護するために、自由行動を執るべき旨をロシアに通告するに至つたのである。

三

當時ロシアは太平洋艦隊の主力を旅順に集結し、一部を浦鹽に割き、また韓國警備としてワリヤーク、コレーツの二艦を仁川に游弋させてゐた。而して我が瓜生少將の率ゐる第四戰隊が木浦旅順の將兵千二百名を乘せたる大連丸以下の輸送船を護衞しつゝ、二月八日に仁川港に來るや、突然露艦は我に砲擊を加へたのである。しかも勇敢なるわが海軍はその衞艦を無事に上陸せしめたる後、遂に翌九日これを仁川港外におびき出して、砲火を浴びせ、開戰三十五分にして前記の如く擊沈、緒戰における赫々の戰果を擧げ、爾後の戰局を有利に導いたことは、今次大東亞戰爭の緒戰における眞珠灣攻擊にも比すべきものであつた。

四

…

議會展望

…

けふ

戰史に輝く記念日二つ

一死貫く隠密作戰

シ島敵前上陸

英帝國の東亞侵略の堅壘シンガポールが陥落した一周年は來た（二月十五日）わがマライ方面陸軍最高指揮官山下奉文中將がブキテマ高地のフォード自動車工場でマライ英軍總司令官パーシバルに對して『イエスかノーか』と毅然たる押しの一手で震へあがらせた歴史的會見で無條件降伏をせしめたマライ攻略の大詰は今新たに國民の感激を甦らせてくれるのだ、そのマライ作戰の最高峰ともいふべきシンガポール攻略は一年前の八日の夜十一時を期して開始されたジョホール水道突破戰からだ、そして九日午前〇時砲兵部隊の夜間爆撃と呼應して果敢な渡過戰が行はれ、幅員〇〇メートルの水道を僅か二十分にして丸谷部隊が西北角の一端に最初の上陸に成功したのだつた、それからグン／＼と猛進、九日午後五時五分大本營から『マレー方面帝國陸軍部隊は昨八日以來敵の抵抗を排してジョホール水道の渡過に成功し、要塞シンガポール島要塞に對して攻撃を開始せり』と腕のすくやうな發表があつた…この水道渡過作戰に參加した〇〇兵團小池部隊京城府黄金町五ノ七七松本喜太郎氏方末松勇中尉（現在總督府土地改良課勤務）の追憶こそ今日の護國記念日に贈るよき感銘の一つである

私の所屬した小池部隊の任務は〇〇兵團の主力をジョホール州の西南端タンジョンツアンから對岸の二百十五高地に渡過させるにあつた、愈よ決行の前夜は諸兵一體となつてその準備に取りかゝり味方砲彈が一齊に唸りを發して敵を制壓する中をわれ／＼は最も沈着に機舟の整備を行つたのである、この渡過の成功こそ全軍が死闘を畫して望みをかけた敵の牙城シンガポールを陷れてマライ作戰を成功に導く重大な分岐點であつたので、われ／＼も實に周到な用意と決意を必要としたのであつた、私は小池部隊の小川第一作業隊に屬して〇個中隊を指揮して戰鬪部隊を舟に移したのだが、時は正に八日の午後十二時、遂にあの歴史的な敵前隠密渡過作戰は開始されたのであつた

目的は隠密渡過だが場合によつては强行渡過となるかも知れんから各員はそのつもりで一死を國に捧げよ

出發前部隊長からは諭め聞かされてゐたので、誰一人生還を期する兵はなく全員すでに敵を呑んでゐたのである

準備完了の合圖に戰鬪部隊は〇〇隻の機舟に分乘した、幸ひ闇夜だ、わが砲撃の展開によつて平生から妨害してゐたランジヤンの敵砲台からの巨大な探照燈は全くその光りの威力を失つてゐる、かくて一齊にエンジンは發動したが、わが巨砲の唸りのためにその音は全く消し飛ばされてゐる、すべて好條件の中に各機舟は静々としてしかも超速度で中流に浮び出たのである

しかしさすがに敵もこの企圖に氣がついたか、先發部隊が對岸に近づくと共に猛烈に機銃を打ちはじめたがいはゆる盲目撃でわが方には損害なくやがて〇分ののちは着岸の成功を知らせる赤青の信號は揚げられたのである、戰鬪部隊は着劍で直ちに敵の中へ突込んで行く（いや敵へ突込んで行くといつた方が適當な言葉であつたかも知れない、實に勇敢な突進ぶりなのである、しかし私の任務は直ちに引返して次の部隊を送らねばならなかつたので時を待たず兵を指揮して全速力でタンジョンツアンに引返した、かくて同一渡過點を往復すること十數回におよんだ、九日午前三時頃、憎くや中空に…

な血の信號を送りつゝ壮烈な戰死を遂げた山本兵長も鬼神を哭かした機舟班長福井准尉の戰死もこの時であつたのだ、幸ひ私の隊には三名の負傷者を出したのみであ…

開した爆彈も全く消散し對岸の敵ランジヤン砲台から滅茶苦茶に射つて來た、敵としては實に好目標であつたのだらうが、これでわが方の損害も増大して行く中に遂に渡過は終つた

部隊長殿、たゞ今渡過は全部終了いたしました…

四十六分の勝負

仁川沖海戰

【仁川電話】二月九日こそ永久に忘れられぬ日露戰役の發端―仁川沖海戰記念日である、暗澹たる妖雲アジヤの一角を包んで風雲の野を壓した三十九年前、大陸半島の侵略を企てた露砲艦ワリヤーク、コレーツ二艦を血祭りにあげ緒戰に收めた戰勝の大戰果とともに〝不敗日本〟を世界に誇示したのはこの日である、今や瓜生師は宿敵米英軍を追ひ八重の潮…

その年二月を迎へるとともに各國軍艦、商船の仁川への入港頻繁となりその出沒は巷間の注意をひき無氣味の緊張が漂ふうち、二月八日夜わが軍艦千代田丸を先頭に高千…

『聯合艦隊第四戰隊ハ陸軍ヲ掩護』…の光榮に浴した

新川少佐談

御寫眞傳達

仁川大和公立國民學校をはじめ、左の六校に對する　天皇、皇后兩陛下の御寫眞傳達式は八日午前十一時から總督府第一會議室で嚴粛裡に擧行、倉島文書課長、本多學務課長侍立のうへ、小磯總督より諸藤道知事（代理各道學務課長）に對し傳達された

【京畿道】仁川大和公立國民學校、仁川昭和東公立國民學校、水原新興公立國民學校【全北道】大州南公立中學校【慶北道】金泉公立高等女學校【平北道】宣川昭和公立國民學校

娯樂まで自給自足

黒龍江節　唄ふ兵隊樂團

【滿ソ國境〇〇にて陸東軍報道隊員本社滕本特派員發】〝黒龍江千里の流れいまねむる、厚い氷にとざされて……〟兵隊さんが義で唄ふ黒龍江節がグーと胸に迫り目がしらが熱くなつた、銃後で聽いたらなんとも思はないであらう、この唄が何んでこんなに激しく迫るのだらう…嚴烈な戰地の異境に敢闘する兵隊さんの勞苦を想つて

寫眞＝玄人はだしの兵隊樂團＝關東軍報道隊員本社森川特派員撮影・軍許可濟

……などといふものだけではないいふにいへない〝ジイー〟と、押し迫る情感の炸裂なのだ―

〇〇部隊を訪ねたわれ／＼に兵隊さんが唄つてくれたのがこの黒龍江節である、かつてのこの地の部隊長が作りこの將校が作曲したといふ唄である、娯樂機關のないこの地では兵隊さん達により樂團が組織されてゐるのだ、樂團のメンバーをきくと意外にも有馬騎兵長がゐた、有馬頼寧伯の次男、有馬兵長は太鼓を叩いてゐた

この外、日劇の大場岩雄君（上等兵）宮川左近の弟子で若衞の藝名で知られてゐる小宮善三郎君（一等兵）波多昇の藝名で新國劇に出てゐた堀昇君（一等兵）關潔虎造の弟子、藝名關潔若鶴の菅正治君（一等兵）などかつてその道の新人がいまは立派な兵隊さんとなりこの樂隊の中心となつてゐる、總勢廿四名、その名も『〇〇部隊慰問演藝班』と稱し立派な舞台も作り昨年十一月組織してからすでに『關の彌太ッペ』や『瞼の母』などの劇もやつてをり、浪曲、漫才、輕音樂などを演じ兵隊さんを樂しませてゐる

又兵隊さん達によりポスターの展覽會も催してゐた、玄人跣足の秀逸ばかりである、第一位入選作は鳥居雅隆一等兵の〝負け大東亞戰〟といふのである、その推薦理由は〝描寫に品位があり藝術價値高く陸、海、銃後を表現したる着想宜しく明朗にて自然味豊なり〟とあつた、實に立派なものだ

この北滿山の作品があつたが何れも南の戰果のみでなく北門の護りを採り入れてあり北邊鎭護を氣構へを現してゐた、峻烈な酷寒を克服し鍊武に明けて鍊武に暮れる北邊、慰安機關もなく不自由な生活との鬪爭の反面にこの明朗な國境風景を醸してゐるのだ、純眞なこの姿をみて誰が胸を衝かれないものがあらうか

夏川ほうじ茶

榮えの日に備へて

鍛へる〝皇軍魂〟

兩指導官に訊く鍊成所視察談

晴れの徴兵めざして鍛へに鍛へてゐる全鮮の特別鍊成所生に帝國軍人魂の眞髄を吹きこみ、半島青年をして榮えある世界無比の皇軍の一員たらしめようと、さきほど總督府鍊成課囑託武官に就任した牛島少將、新川少佐の兩氏は去る一月廿七日京城を出發、十一日間に亙つて忠南を皮切りに全南北の朝鮮青年特別鍊成所をはじめ青年訓練所、青年隊などを視察して六日歸任したが、いま血みどろの敢鬪をつゞけてゐる半島青年の鍊成ぶりが指導の第一線にある牛島將軍特に牛島出身武官たる新川少佐の眼にどう映つたか、その現地報告をきいてみよう【寫眞＝語る牛島少將（左）と新川少佐】

牛島少將談

去る十二月初旬、右も左も知らない青年を集めて特別鍊成所を開所したとき『一體この青年たちはどうなるだらうか』といふ、これら青年たちの將來が非常に懸念されたときいてゐた、それがどうか、わづか三ケ月そこ／＼で頭右、敬禮その他であ…

時計の修理は　村木へ

東亞競技氷上大會第二日

【新京八日同盟】…

刑務官鍊成會

…

聖戰に征く女性

白衣の天使座談會【上】

纖手に注ぐ母性愛

前線復歸を希ふ重患を說得

北は嚴寒肌を裂くアリューシャン列島、滿ソ國境四千五百キロの防壁から南は蠻煙瘴霧のソロモンに至る二萬キロの戰線に亙つて瞬時の休みなき激闘を續け、皇軍將兵は血で綴る赫々の武勳を輝かせてゐるが、この戰果の蔭には悃くも護國の礎石として散華、または敵彈に斃れつき、病魔に疲れてゆく數多の尊き犠牲が秘められてゐる、この犠牲に身を挺して晝夜の別なく敵彈にも屈せぬ愛をもつて稜かい看護を盡して…ゐるのが軍醫であり、衞生兵であり、看護婦である、敵前にて武器なく戰ひ續けるこれら軍陣醫療戰士の勞苦はまた筆舌に盡しがたいものがあるのである、特に白衣の天使と謳はれる救護看護婦こそは女性の身で聖戰に直接身を曝らして戰ひ抜く唯一の聖職で、その使命は敵前に死闘敢戰する勇士の活躍と何等異らないのである、戰ひが長期に亙り、しかも熾烈を極める決戰が幾度か展開されるに從つて男性は決戰場へ、建設戰場へ續々と送り出し人的配置の轉成替へが要請され、これまでの男性の職能の多くは女性が受け繼がなければならないのである、このうちでも傷病勇士のお看護には先天的な愛情に溢れた女性の暖かい手が菜伸しく効用を發揮することが長い實戰の經驗から割り出され、今回全國の陸軍病院ではこの女性の手を動員して直接女性に聖戰に挺じる聖職を頒つことになつた

既に列國とも女性の徴用が開始され、特に敵英國の如きは廿歳から卅歳までの獨身者は全部、卅一歳から四十一歳までの子供のない既婚者、子供があつても十四歳に達したものは何れも徴用をうけ、その總人數は四百五十萬人に達してゐる、敵陣營にしてこの女性の敢闘ぶりである、わが國には女性の徴用制はないが、徴用を受けるまでもなく進んで勇士と共に戰ひの庭に立つ〝聖戰に征く女性〟救護看護婦の後繼者を求めるため、朝鮮軍報道部では戰場に活躍した勇士軍醫と看護婦を圍んで尊い體驗を語る座談會を催した【寫眞＝朝鮮軍高等官食堂における座談會】

中川　今回陸軍では衞生兵に代つて戰場に活躍中不幸傷つき或は病氣に斃れた勇士の看護をお願ひすることになつたのは人的資源の活用といふことも勿論ありませうが、その根本をなすものは女性が先天的に持つ母性愛の發露によつて傷病勇士に暖かい看護を盡し勇士をして再起…

語る人

【以下本文略讀不能】

京城日報

本年劈頭の敗戰に敵陣營の打擊深刻

我戰略態勢今や磐石

南太平洋戰線

【東京電話】惡天候を衝いて敵勢力圏内に斬込んだその果敢なる奇襲戰に成功した點において、かのハワイ海戰に、また敵の大艦隊を撃滅しながらわが損害が僅少であつた點において、マレー沖海戰に匹敵する大海戰と稱し得べきレンネル島沖海戰の大勝利について、息つく暇もなく、またソロモン群島イサベル島沖ニュージョージヤ島方面にあがつた海鷲の戰果と潜水艦のカントン島砲撃は一億國民を年頭再度欣喜せしめるとゝもに、敵陣營に大衝動を與へた、南太平洋の戰局は周知の如く昨年來我彼激烈なる海空戰の連續裡に一張一弛膠着狀態にあり、敵はその間を狙つて大反攻を試むべく虎視眈々たるものあつたがその企圖はレンネル島沖海戰によりまづ無殘にも破碎された、敵が新鋭を增強して執拗に反撃挑戰し來れるをその都度徹底的に擊滅してゐるのである、レンネル島沖海戰に引つゞく最近の南太平洋におけるわが戰果を見るとき、わが國同方面勢力、特に海軍航空勢力が最近著しく增強されたことを窺ふことが出來る、濠洲外相ドレーク・フォードが一月卅一日ソロモン群島方面における日本航空部隊の脅威を指摘して

『日本はソロモン群島方面に全力を盡し絕對優勢なる制空權を確立しつゝあり、すでに日本海軍は濠洲北部に一大勢力を集結した、今後日本の爆擊機、戰鬪機の活躍は必ずや激甚となるであらう』

と警告した一節はこのことを物語つて餘りあるものである、さらに濠洲首相カーテンはさる三日南太平洋の危機を指摘して

『日本軍が濠洲周邊の諸島を占據すれば補給增援も十分出來るしまたこれらの諸島を據點として濠洲大陸に大規模な攻擊を加へることゝならう』

と述べるなどアメリカが呼稱する對日總反攻の年一九四三年を迎へて以來、濠洲はあらゆる機會に危機迫るを絕叫しつゞけて來た、勿論これには對米ゼスチュアも多分に含まれてゐるであらうが、カーチン、ドレーク、フォードらの警告は、濠洲孤立寸前の危險な立場を正確に認識してゐるものと見てよいであらう、一方敵米英は最近盛んに大にして獨逸潜水艦の通商破壞戰に對する脅威を叫んでゐる、未曾有の船舶建造も相次ぐ船舶の喪失を充足補充し得ぬ現在、樞軸潜水艦神出鬼沒の活躍は敵陣營に深刻な影響を齎し、加ふるにわが潜水艦が米濠連絡路の重要中繼基地たるカントン島を砲擊したことはさらに絕大な精神的打擊を與へつゝある、かくしてレンネル島沖海戰以來のソロモン群島を中心とする南太平洋最近の戰況は我が優位にある帝國海軍の戰略態勢をさらに確固不動たらしめ、その鐵鎖ははさらに敵の反攻を粉碎しさるまで加へられるのである、一九四三年を對日總反攻の年と呼號する敵アメリカはかくて早くもその第一歩におい て脆くも蹉跌し、戰爭三年目、已に反攻を叫ぶ反面、やうやくあらゆる方面に政治的、軍事的、經濟的破綻を暴露しはじめた、勿論その保有する資源、巨大な生產力などは絕對輕視し得ぬところであるが、いまや、戰前獨占してゐた南方の一大資源地域はわが掌中にあり、このためアメリカはその有する巨大な生產力が思ふ如く動きならぬ破目に逢着するであらう、而してその危機は刻一刻迫りつゝある、然しながらわが方としても徒らにこれらの事實に安心を許されぬ、南方の資源も單に掌中に收めたのみでは何ら意味をなさぬ、この資源を最高度活用してこそ、はじめて敵米英の危機をさらに促進せしめるのである、そのためにはまづ船舶を絕對必要とすることはいまさら贅言を要せぬ、南太平洋帝國海軍今後の大攻勢も一に今後戰力增強にかゝつてゐる

我空軍 ニューギニヤ方面に猛威

【リスボン七日同盟】メルボルン來電＝反樞軸軍西南太平洋司令部は七日次の通り發表した『日本航空部隊は有力な兵力をもつてニューギニヤ島の一部を數次にわたり攻擊し六日終日空中戰を交へた、日本航空部隊はダーウイン上空に飛來、反樞軸軍戰鬪機隊と交戰した』

米、悲鳴あぐ

商船喪失數月に百萬噸

【ブエノスアイレス六日同盟】通商破壞戰の激化に伴ひ反樞軸國家側では商船喪失數が月百萬トン以上に達してゐると悲鳴をあげてゐるが、ワシントン來電によれば五

壯絕！血達磨突擊

米軍再び倉皇と遁走

【南太平洋戰線〇〇基地にて】〇〇部隊の駐屯する〇〇基地を訪れた記者は相次ぐ激戰の返り血の痕も生々しい破れた戎衣こそ纏つてゐるが、士氣軒昂たる勇士達からわが堅陣のまへに小癪にも上陸してきた敵と斷乎戰を交へてこれを擊退した壯烈な血戰の思ひ出を聞いた

〇月〇日の朝だつた、ジャングルの中の聞高い鳥の鳴聲が何となくわれ〳〵の神經を不氣味に搖つた、その日の仕事の準備をしてゐると海岸附近に米を洗ひに行つてゐた兵隊が『敵の艦

ガ島爆擊米側發表

【リスボン六日同盟】ワシントン來電、米海軍省は日本航空部隊が四日夜ふたゝびガダルカナル島の米軍陣地を爆擊した旨六日發表した、但し爆擊による被害、死傷者數については一言も觸れなかつた

チャーチル英都歸還

【リスボン七日同盟】ロンドン來

農報運動を展開

道場、技術員修錬所設置

各道農政農務課長會議開く

決戰半島の農業再編成實現に邁進せんとする總督府農林局では八日午前十時半から本府第二會議室で各道農政、農務兩課長會議を開催した、會議は同局長代理島地農產課長よりさきに決定した朝鮮農業計畫設定要綱および實施要綱を說明したのち、同要綱の內容につき質疑應答あり豫算二百萬圓をもつて四月一日より實施せんとする鮮內の耕地、作物、役畜、農器具など全般にわたる朝鮮農業の實態調査の細目ならびに十八年度新設される農民道場、農業技術員修錬所およひ農業報國運動の展開方法などにつき詳細な打合せを行つた、なほ會議は九日も續行する

事務刷新を要望

田中總監再び吏道を說く

決戰半島の指導的立場に立つ總督府全課長に對し執務上の心掛につき訓示した田中政務總監は八日午後二時からさらに本府官房各局ならびに外局たる鐵道、遞信、專賣局、土木出張所など行政の第一線に起つ事務官、技師、理事官ら課長を除く高等官約二百名を本府第一會議室に集め、前回とほゞ同様の趣旨に基き約一時間にわたり現下の決戰體制に即應する行政事務の徹底的刷新を強く要請する訓示を行つた

田中政務總監

あす東上

田中政務總監は議會出席のため九日午前十一時十分京城驛發列車で出發東上する

日米國海事委員會委員長エモリー・ランドも增大する潜水艦の脅威を指摘して左の如く警告を發したと傳へられる

ドイツの潜水艦增強能力は現に樞軸軍の擊沈數よりもはるかに上廻つてをり、通商破壞戰の脅威はますます增大しつゝある、反樞軸國家側でも目下海軍艦艇、航空部隊と哨戒部隊をもつて防禦に努めてゐるが、潜水艦の脅威に對抗することは極めて困難である

印度洋艦上に迎へた大詔奉戴日（横山海軍報道班員撮影海軍省許可濟第一〇一號）電送

兩院とも快速審議

大詔奉戴日の決戰議會

【東京電話】大詔奉戴日たる八日の議會は貴族院では午前十時十分開會、國民貯蓄組合法中改正法律案ほか十五件を委員長報告通り決定午後零時十七分散會、衆議院へ送附の手續きをとつた、かくて先議法律案中卅九件中卅五件が衆議院に送附ずみとなつたわけである、本日の十六法律案中商工經濟會法案が目下衆議院で審議中の地方自治制度改正に對應する商工經濟その他經濟會の地方制度改正と見るべきもので、その他の臨時資金調整法中改正法律案ならびに朝鮮と直接關聯を有する帝國鑛業開發會社法中改正法律案等の經濟關係法律案とともに衆議院の委員會において相當論議が出るものと豫想される、なほ同法律案に對する大河內輝耕子の演說內容は多少散漫を免れなかつたが『法の運用』に留意されたしと述べたのは注目すべき質疑であつた、貴族院ではこのほか請願分科會、滿洲國裁判法委員會を開催、一方衆議院の豫算總會は本日が最終日のこととて定刻を一時間繰上げて午前九時から開催、田中彌氏の利水政策、沖倉氏の米價問題等を中心とする質疑が熱心に展開されその他貿易關係法委員會ほか六委員會が午前午後にわたつて開かれ兩院とも快速調の審議を進めた

經濟統制運營には人間味が絕對必要

首相、重ねて所信披瀝

衆院豫算總會

【東京電話】八日の衆議院豫算總會は午前九時卅分開會

小笠原三九郎氏（翼政）交易營團の特別會計についての關係如何、營團設立を企圖

總力戰に奮ひ起つ

國內は『戰ふ生活』と『働く生活』

獨、戰時體制の一色

【ベルリン六日同盟】スターリングラードの悲劇的戰鬪はドイツの社會生活をがらりと一變させてしまつた、それは滿東半島還附のの如くに戰時體制を整つた日本國民の會部的緊張に似てゐるといへよう、スターリングラードの勇士の弔合戰をせよ』といふ合言葉が戰光はじめとして勞働力強化のためいのやうに國民の縱から縱へと傳はり、ドイツは今や國を擧げて國力總動員の途を進みつゝあるのだ、その第一步は去る一月廿八日に公布された勞働法總動員法である、ドイツには早くから勤勞奉仕團をはじめとして勞働力強化のためい ろ〳〵な組織や制度が設けられてゐたが、今度いよ〳〵この危局に直面して餘剩勞働力の存在を全く許さぬ徹底的な法令が施行されることゝなつたものである

今回の總動員

大詔奉戴記念預金

朝鮮殖產銀行

交易營團の活動分野

賀屋藏相答辯

獨、反擊狙ふ

南部戰線

消息

總督府辭令